

## 2023年度事業計画（案）

### 2023年度事業計画書（案）

#### 1 基本方針

当協議会は、すべての会員事業所の活動がしやすい環境整備を関係機関と協働して進めるとともに、労働安全衛生の普及、福利厚生充実及び経営改善の支援などを促進し、それぞれの経営の安定・向上に資することにより、白井工業団地の活性化と地域経済の発展に寄与する。また、会員間の交流・連携を深めるとともに、地域における活動や交流にも積極的に関わり相互理解を通じて当協議会の活動が広く認知されるよう公益的事業にも注力する。

なお、2020年から続く新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大により、これまで各事業の実施に大きな影響があったことから、コロナ禍にあることを前提に各事業が計画通り実施できるよう、またその影響が最小限になるようその時々状況に即した対応をとっていくこととする。

#### 2 実施事項

##### (1) 協議会組織の強化と活性化について

未加入事業所の入会促進を行い組織の拡大を図るとともに、理事会、各委員会及びブロック会議などを定期的開催し、会員間の意見交換を活発化させ、新たな事業の検討や課題解決等に向けて一体感を持って取り組む。

特に、各種事業の検討や課題解決のため、各委員会を適宜に開催し、当協議会活動の底上げと会員への浸透などを促進する。

また、有益な賛助会員の加入を進め、当協議会への協力・支援の機運を高めるとともに、財務基盤の強化につなげる。

さらに、情報発信の強化と情報共有を促進するため、ホームページの活用や会報の充実を図るとともに、コロナ禍にあつて定例開催が難しい状況にある各種の会議、セミナー及び行事等について、時々状況の的確に見極め開催する。

##### (2) 技能講習会等について

従来の技能講習を継続するとともに、会員の要請により新たな講習も積極的に開催するとともに、技能講習実施機関の多様化を図る。

出張講習に必要な会場については、会員事業所の理解を得て確保に努める。

なお、フォークリフト運転技能講習及び小型移動式クレーン技能講習については、受講者の確保や出張講習の規定等から当協議会での実施が困難となっているため、会員企業及び近隣教習機関を紹介していくこととする。

##### (3) 労働安全・労働衛生等について

船橋労働基準監督署及び（一社）船橋労働基準協会と連携し、労災事故をなくすとともに従業員の健康増進を推進するため、労働災害の防止対策の普及及び労働安全衛生の意識の高揚を図る。

また、全国労働安全週間や労働衛生週間においては、各事業所はもとより従業員が必要とする労働安全及び労働衛生に関する講演会等を適宜開催する。

##### (4) 健康・衛生事業について

会員事業所の従業員の合同健康診断、インフルエンザ予防接種及び各事業所の井戸水

水質検査などは、引き続き実施し、健康・衛生管理の促進に努める。

また、白井工業団地地区への上水道の普及については、引き続き事業体の白井市に強く要望していくこととする。

なお、新型コロナワクチンの職域接種については、適宜情勢を見極めるとともに、国等からの要請や会員からの要望を踏まえて、その実施の有無を判断するものとする。

#### (5) 環境整備について

道路関係では、白井市に対して工業団地アクセス道路の早期整備・早期開通とともに、桜台地区からの新たな計画道路の整備の早期着手について、引き続き強く要請する。

また、春・秋の工業団地一斉清掃・ごみゼロ運動の実施、防犯灯の新設・補修などを随時行うとともに、交通量が増加していることから交通安全の徹底と意識の高揚を図り、清潔で安全な工業団地の維持に努める。

さらに、白井工業団地地域においても窃盗などの犯罪が多発していることから、防犯について、具体的な取り組みを計画し、地域とも連携し実効性のある取り組みを実施する。

なお、近年は、台風・大雨、地震等の自然災害の発生が危惧されていることから冠水対策など、災害に強い基盤整備を関係機関に要請するとともに、当協議会においても災害時の連絡体制の構築、防災資機材の備蓄や応急対策の相互協力の在り方などの防災対策を検討する。

#### (6) 交流・親睦について

交流事業は、当協議会にとって重要なものであることから、一層、会員間及び地域住民との交流・親睦を図るため、親善野球大会の開催及び地域と連携した納涼盆踊り大会を開催するほか、新たな交流等の機会の創設を図って行くこととする。

特に、当工業団地を含む白井第二小学校区において、10の地元自治会、地区社会福祉協議会、第二小PTA、消防団やしろい環境塾などの団体及び地域で活動する個人が参加する「白井第二小学校区みどりの里づくり協議会」が昨年度から活動を開始しており、当協議会もこれに参画していることから、地域との連携を積極的に図りながら各種事業を推進することとする。

#### (7) 事業支援について

コロナ禍にあって、実施できなかった産学官連携における技術開発支援や雇用拡大に向けたインターンシップなどの取り組みについて、ウィズコロナにおける連携方法を関係者と共に検討し、可能な限り実施して行く。

また、経営改善や効率化等のヒントにつながる生産性向上支援セミナーとして生産管理関係及び組織マネジメント関係の講座を引き続き開催するほか、ITスキルを高めるためのIT活用力セミナーを開催する。

さらに、サテライト相談（4回開催）については、引き続きその有用性をPRし、気軽に経営全般にわたる相談に活用できるようにするとともに、知財総合支援相談（偶数月開催）についても引き続き開催し、特許や商標等の利活用などの支援を行う。

また、会員事業所の求人情報や製品の受発注情報をホームページに積極的に掲載し、情報発信の強化や会員間取引の支援を推進する。

#### (8) 白井工業団地産業振興センターの活用について

産業振興センターについては、会員利用のほか多方面での活用についてPRし、利用促進を図る。

(9) 関係機関との連携強化について

工業団地の環境整備や活性化に向けた取り組みの実現には、関係機関等の協力が不可欠であることから、各方面との連携強化を積極的に推進する。

そのために、白井市や白井市議会との定期的な意見交換会等を開催するとともに、印西警察署や民間バス会社などとも共通の課題について、意思疎通が図れる関係を構築するとともに、工業団地周辺の自治会や市民団体との交流を促進し、理解を図る。

(10) 地域との交流及び地域活動支援について

企業にとって優秀な人材を確保し育成していくことは、発展の重要な要素であることから、将来の地元人材の確保に向け白井市内の中学校及び高等学校と連携し、キャリア教育の助成や職業体験型学習の支援などを引き続き行う。

また、白井第二小学校地区みどりの里づくり協議会にも積極的に参加し、地元自治会や市民団体との交流をさらに発展させ、地域の理解を得ながら地域と一体となった工業団地となるよう取り組んで行く。

[参考：主な新規事業及び重点事業]

- ① みどりの里づくり協議会への参加などによる地域との連携強化
- ② キャリア教育の支援事業の普及と定着（市内小・中学校及び白井高等学校）
- ③ 各種会議を通じた組織力の強化と活性化
- ④ 防災体制の構築
- ⑤ 労働災害の防止対策の強化
- ⑥ 交通安全、防犯対策の実施
- ⑦ 実践セミナーの開催
- ⑧ ホームページの利活用の拡充
- ⑨ 道路整備、上水道の事業化、公共交通（バス）の利便性向上、交通規制緩和及び解除などの要望活動の強化
- ⑩ ウィズコロナとしての協議会運営の確立
- ⑪ 正会員及び賛助会員の獲得
- ⑫ その他

※ 各年間予定表は、別添のとおりである。  
なお、諸事情により日程等の変更がある。